

ジャパンミルク कांग्रेस 2023 ご案内

乳の学術連合と一般社団法人Jミルクは、11月12日(日)に東京大学・伊藤国際学術研究センターで、乳の学術連合における最新知見や研究成果を発表する学術研究集会「ジャパンミルク कांग्रेस 2023」を開催致します。「乳の学術連合」では、乳の健康栄養面の価値解明や社会・文化的な意義の解明、乳の価値や意義を人々に伝えるための食育等、多様な研究活動を行っており、その研究成果を酪農乳業関係者の皆様に発表させていただきます。最新の乳の学術連合における最新の研究成果を口頭4題、ポスター22題を発表する予定です。

つきましては、多くの乳に関わる関係者の皆様に、乳の学術連合の研究活動成果をお知らせし、今後の活動にご活用いただけるものと存じ上げますので、是非、ご参加いただくと幸いです。

1. 実施概要

■名称：ジャパンミルク कांग्रेस 2023

■日時：2023年11月12日(日) 研究発表 12:30~15:45 (受付 11:30~)

※情報交換会 16:00~17:30

■場所：東京大学・伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール、多目的ホール

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 伊藤国際学術研究センターB2

■オンデマンド配信(予定) 2023年11月27日(月)~12月8日(金)

■主な参集範囲：乳の学術連合会員、酪農乳業関係者、医師、栄養士、学校教職員、研究者、メディア・ジャーナリスト等

2. 主催：一般社団法人Jミルク、協力：乳の学術連合

3. 後援：農林水産省、農畜産業振興機構、全国学校栄養士協議会、健康日本21推進全国連絡協議会、骨粗鬆症財団、日本酪農乳業史研究会、日本農業経済学会、日本酪農科学会、日本フードシステム学会、日本在宅栄養管理学会、日本骨粗鬆症学会、日本栄養士会、日本教科教育学会、日本栄養改善学会、学校給食研究改善協会(他申請中)

4. 主な参集範囲：乳の学術連合会員、酪農乳業関係者、医師、栄養士、学校教職員、研究者、メディア・ジャーナリスト等

5. 参加上限 250名

6. お申し込み方法：イベントプランナーよりお申込みください。



左記 QR コードもしくは下記 URL よりお申込みください。

URL : <https://event.event-planner.net/#/c3vnfc4j>

■ お申込み締め切り：2023 年 11 月 7 日（火）

プログラム（予告なく変更になる場合があります）

ジャパンミルクコンGRESS2023 プログラム		
時間	演台	時間
12:30	開会、主催者挨拶	15
12:45	口頭発表①（関連学会特別報告、牛乳乳製品健康科学部門） ●高木秀彰 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光研究施設助教 「量子ビームを利用した小角散乱法による牛乳及びチーズ中のカゼインミセルの構造解析」 ●宮川尚子 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学助教 「高血圧を有する被災住民における乳製品摂取の有用性の検討」	50
13:35	休憩	10
13:45	ポスター発表（22研究発表）	60
14:45	休憩	10
14:55	口頭発表②（乳の社会文化部門、食と教育部門） ●清水池義治 北海道大学大学院農学研究院基盤研究部門農業経済学分野准教授 「中国酪農における非メガファーム経営の存立構造」 ●石井雅幸 大妻女子大学家政学部児童学科教授 「SDGsの視点を取り入れた食育のコンテンツ開発の研究－食材を通して特に乳を中心について～」	50
15:45	閉会（終了後、隣接ホールで情報交換会）	
16:00	情報交換会	90
17:30	終了	

13:45～ポスター発表 22 題発表研究者・テーマ

<牛乳乳製品健康科学部門 10 題> ・岡村拓郎 京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学病院助教「牛乳・乳製品の摂取に関連したサルコペニア予防作用を有するメタボライトの特定」

- ・竹森洋 岐阜大学工学部 化学・生命工学科教授「エクソソームの簡便定量法による乳製品の新規機能及び規格の構築」
- ・中野泰至 千葉大学医学部附属病院小児科助教「乳児期のビタミンD投与による腸内細菌叢変化に α ディフェンシンが及ぼす影響」
- ・山崎輝美 金沢大学ナノ生命科学研究所特任助教「離乳期における乳製品の摂取が花粉症予防に關与するメカニズムの解明」
- ・大久保剛 仙台白百合女子大学人間学部健康栄養学科准教授「牛乳及び乳製品はコリン化合物摂取に役立つか？」
- ・木村安美 広島修道大学健康科学部健康栄養学科教授「地域在住高齢者における牛乳・乳製品の摂取とサルコペニア発症との関連」
- ・山川路代 岐阜大学大学院医学系研究科 疫学・予防医学分野助教「小児期の牛乳乳製品の摂取、腸内環境および呼吸器感染との関連性の検討」
- ・竹田志郎 麻布大学・獣医学部 動物応用科学科 食品科学研究室准教授「チーズ熟成カビが産生する新規生理活性物質の探索」
- ・後藤孔郎 大分大学医学部附属病院 内分泌・糖尿病内科講師「ACE2発現に注目した腸内環境改善による新型コロナウイルス感染に伴う重症化予防の検討」
- ・松井康素 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・ロコモフレイルセンターセンター長「牛乳摂取ならびにビタミンD併用摂取によるサルコペニア、ロコモ、フレイルへの影響に関する研究」

<乳の社会文化部門5題>

- ・大竹晴佳 甲南大学文学部非常勤講師「酪農に関わる女性の経営参画および社会参画の現状と課題－岡山県の酪農地域を事例として」
- ・廣田千恵子 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター学振特別研究員「モンゴル国カザフ牧畜民における乳の食文化的意義に関する考察－乳加工技術から乳製品の食利用まで－」
- ・WU WUYUNGA 総合研究大学院大学 文化科学研究科 比較文化学専攻 博士後期課程「ラクダの生命誌（バイオグラフィー）からみた乳をめぐる価値創出の技術とプロセス－中国内モンゴル自治区アラシャー盟の事例から」

・小林国之 北海道大学大学院農学研究院准教授「規模拡大が家族酪農経営のソーシャルキャピタルに及ぼす影響の実態分析」

・尾崎智子 龍谷大学農学部講師「近代日本の玄米菜食主義と牛乳」

<食と教育部門7題>

・大貫麻美 白百合女子大学 人間総合学部准教授「幼児を対象とした「乳」に関する理科読プログラムの開発と実践研究」

・河口八重子 独立行政法人国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究室研究員
「牛乳が苦手な未就学児を支援するサペレメソッドを用いた R&R 体験型食育プログラムの開発」

・大橋弘範 福島大学共生システム理工学類准教授「中学生の官能検査と呈味成分変化の関連性～科学的手法による「牛乳のテイスト・マップ」の作成の試み～」

・今中美栄 島根県立大学出雲キャンパス看護栄養学部健康栄養学科教授「韓国と日本の食育における牛乳・乳製品の価値観について～健康寿命の延伸をめざすヘルスリテラシー教育の現状と課題～」

・成瀬祐子 松本大学・人間健康学部栄養学科専任講師「家庭の健康的な食生活実践に及ぼす学校給食の教育的価値～牛乳・乳製品を題材として～」

・田中智美 城西国際大学経営情報学部非常勤講師「大型スポーツ選手の代謝異常改善のためのオンライン栄養教育による介入効果の検証」

・山本輝太郎 金沢星稜大学講師「「強いアンチミルク意識」に効果的なオンライン教材の開発～教材設計理論による効果の差異」

本件に関するお問合せ先

一般社団法人 J ミルク 担当 間弓

TEL: 03-5577-7494、Email: m-alliance@j-milk.jp